

平成 28 年 5 月 24 日
学校法人 大乘淑徳学園

平成 27 年度の資金運用結果について

平成 27 年度は、日銀による異次元の量的・質的金融緩和に加え、マイナス金利の導入により、一層低金利が進みました。また、為替相場は、前年から続いていた円安が、平成 28 年の年明けから円高に向かいました。

本学園では、上記の状況の下、平成 26 年度から制定された資金運用規程に則り、資金運用委員会・資金運用小委員会を組織して、平成 27 年度資金運用方針に基づき資金運用に取り組みました。

以下に平成 27 年度の資金運用結果について簡単にご報告いたします。

1 預金（期末残高 155 億円）

満期を迎えた定期預金などについて、銀行等の見直しを行いました。健全経営で一定の預金量を有するなかから、利回りで有利な金融機関と新たに預金取引を開始しました。

しかし、金利低下が進んだことにより昨年度を下回った結果となり、運用益は 27,793 千円（利回り約 0.18%）となりました。

2 公債（期末残高 2 億円）

公債については、低金利状態が継続したため新規に購入した債券はなく、前年度までに保有した財投機関債や地方債で運用し、1 銘柄 5 億円が満期償還となり、運用益は 1,718 千円（利回り約 0.24%）となりました。

3 社債（期末残高 25 億円）

社債については、低金利状態が継続したため、一部を除き新規購入を控えました。1 銘柄 5 億円を購入し、1 銘柄 3 億円が満期償還となり、運用益は 22,027 千円（利回り約 0.78%）となりました。

4 金融債（期末残高 約 15 億円）

金融債については、低金利状態が継続したため、一部を除き新規購入を控えました。大手金融機関の債券 1 銘柄 5 億円を新規購入し、1 銘柄 5 億円が満期償還となり、運用益は 10,883 千円（利回り約 0.54%）となりました。

5 その他（期末残高 約 39 億円）

為替系仕組債については、為替の円安局面により、1 銘柄 3 億円が早期償還されました。また、低金利のなか安全で一定のクーポン収入が期待できるクレジットリンク債 3 銘柄 15 億円を新規に購入しました。

その結果、運用益は 22,504 千円（利回り約 0.52%）となりました。

以 上